# 中小企業大学校東京校 中小企業診断士養成課程

## 第 47 期（2027 年 3 月開講）第 2 次募集 応募手続きについて

中小企業大学校東京校では中小企業診断士第 1 次試験に合格した方を対象に約 6 か月間（全日制）で実務能力の高い中小企業診断士を養成いたします。

養成課程を修了された方には、「第 2 次試験の合格」および「実務補習」に代わるものとして、国家資格「中小企業診断士」の登録資格が付与されます。

この度、当養成課程では第 47 期（2027 年 3 月開講）受講者の募集を行います。

### 応募書類（送付物）のチェックリスト

① 受講申込書
② 推薦書(機関派遣で申し込む方については、派遣元機関から提出していただきます)
③ 履歴書（写真貼付）
④ 身上書
⑤ 審査資料（小論文・原稿用紙 2 枚以内）
⑥ 受付票・面接票・写真票（写真貼付）・返信用ラベル
⑦ 健康診断書（当校指定書式）
⑧ 第 1 次試験合格証書 PDF データを印刷したもの

※①～⑦につきましては、当校のホームページより様式をダウンロードの上、ご作成ください。

### 第 47 期中小企業診断士養成課程（3 月開講）第 2 次募集へのお申し込み・審査の流れ

| 応募期間 | 書類選考結果発表 | 面接審査 | 最終結果発表 | 開講日 |
|---|---|---|---|---|
| **2026 年 12 月 10 日（木）**<br>～<br>**2027 年 1 月 20 日（水）**<br>**当日必着**<br>所定の必要書類を提出いただきます。 | **2027 年 1 月 25 日（月）**<br>ご提出書類をもとに受講資格や適性、姿勢やキャリアの方向性などを確認し、書類選考を行います。 | **2027 年 2 月 6 日（土）**<br>東京校にて面接審査を実施します。 | **2027 年 2 月 8 日（月）**<br>面接審査の結果はホームページと文書（郵送）で通知します。 | **2027 年 3 月 23 日（火）**<br>養成課程がスタート。6 か月間で実践力を鍛え上げ、真の中小企業の伴走者へ。 |

### 第 47 期中小企業診断士養成課程　開講概要

| | |
|---|---|
| 開講期間 | 2027 年 3 月 23 日（火）～　2027 年 9 月 27 日（月） |
| 実施場所 | 中小企業大学校 東京校<br>（東京都東大和市桜ヶ丘 2-137-5） |
| 開講時間 | （演習期間）午前 9 時 40 分から午後 4 時 40 分<br>（実習期間）午前 9 時 40 分から午後 5 時 40 分 |

中小企業大学校　中小企業診断士養成課程
公式ホームページ

独立行政法人中小企業基盤整備機構　中小企業大学校東京校　養成課程担当
〒207-8515 東京都東大和市桜が丘 2-137-5　電話:042-565-1273

2027年3月スタート

# 中小企業診断士養成課程
# 第47期生 募集要項

## 【第2次募集】

**第2次募集の趣旨**

当校としては、より多くの方々に当養成課程をご受講いただきたいと考えております。
第1次募集において欠員が生じる可能性があることから第2次募集を実施いたします。
第2次募集における合否人数は、第1次募集の欠員状況により決定します。
あらかじめ、本趣旨をご理解、ご了承の上、お申込みいただきますようお願いいたします。

- **実施期間**　2027年3月23日(火)～2027年9月27日(月)
- **募集定員**　若干名
- **実施場所**　中小企業大学校東京校

**〔応募受付期間〕**
**2026年12月10日(木)～2027年1月20日(水)当日必着**

独立行政法人中小企業基盤整備機構
**関東本部 中小企業大学校 東京校**

目次

# 第2次募集要項


1. 実施目的 …… 1

2. 応募条件 …… 1

3. 応募から開講までのスケジュール …… 1

4. 申込方法 …… 2

5. 選考方法 …… 4

6. 結果発表 …… 4

7. 受講料 …… 5

8. 感染症予防対策 …… 6

9. 個人情報の取り扱い …… 6

10. Q&A…… 6

受講申込書　記入例 …… 7

推薦書　記入例 …… 8

履歴書　記入例 …… 9

身上書　記入例 …… 10

審査資料　テーマと作成上の注意 …… 11

受付票・面接票・写真票　返信用ラベル　記入例 …… 12

健康診断書　記入例 …… 13

# 募集要項

## 1．実施目的

当養成課程では、中小企業への経営支援を通じて、地域・社会の発展に積極的に貢献する中小企業診断士を養成します。

## 2．応募条件

1.の実施目的を理解し、以下の条件を満たす方（年齢は問いません）

（1）中小企業診断士第１次試験（以下、「第１次試験」と記載）合格者のうち以下の方
① 2025年度（令和7年度）及び2026年度（令和８年度）の第１次試験合格者
② 2000年度以前の合格者（2001年度以降に第２次試験を受験した方及び2006年度以降に当養成課程又は登録養成課程を受講した方を除く）

（2）心身ともに健全で約６か月間の研修を受講し得る方

（3）開講日時点で実務経験を通算して概ね２年以上有する方

（4）パソコン操作の基礎知識（文書作成・表計算・プレゼンテーションの各ソフトを使いデータの並べ替え・グラフ化等の操作を自らの力のみで行い、Microsoft Teams上で情報共有できる）を有し、開講時に以下の条件①、②を満たしたノートパソコンを持参できる方
条件①：Microsoft Office及び市販の**セキュリティソフトがインストール済**で、アップデートされているPC
条件②：**プリンタードライバーがインストールできるPC**（ブラウジングに特化したデバイス不可）
※WindowsPC推奨（MacOSをご利用の場合、不具合がでる場合がありますが事務局では対応いたしかねます）

（5）当養成課程修了後は中小企業診断士の知識･経験･スキルを中小企業の経営支援や地域経済の発展に積極的に役立てたい方、中小企業診断士の資格取得のみを目的としない方（P6.10.Q1参照）

（6）当校ホームページに掲載されている受講同意書の内容を理解し遵守出来る方

受講同意書

## 3．応募から開講までのスケジュール

- □ 応募書類受付期間（2026年12月10日（木）～2027年1月20日（水）当日必着）
- □ 受付票送付（応募書類受理後に受付番号を記載した受付票を順次送付）
- □ 書面審査
- □ 面接対象者をホームページで発表、面接決定通知書送付（面接票を送付）（2027年1月25日（月））
- □ 面接審査（2027年2月6日（土））東京校にて実施（面接票を持参）
- □ 面接審査結果をホームページで発表、面接審査結果通知書送付（2027年2月8日（月））
- □ 受講料納入期限（2027年2月26日（金））
- □ 教材の一部を事前送付（2027年２月下旬発送）
- □ 開講（2027年３月23日（火））

### ◆応募条件に関する留意点

#### ①実務経験年数について

・開講日時点で企業等への就業経験（業種・職種・雇用形態は問いません）を通算して概ね２年以上有し、社会人として基本的な常識、マナーを有すると判断できる方を応募の対象者としております。
・派遣社員として勤務されている方は、派遣先企業の業務に従事した期間を実務経験年数とすることができますが、派遣会社への登録のみで業務に従事していない期間は含まれません。
・実務経験年数は全職歴の通算年数をお書きください。

#### ②第１次試験の合格と応募について

・第１次試験の一部の「科目合格」では応募要件となりません。第１次試験の「試験合格者」が当養成課程の応募対象者となります。
・当養成課程には、第１次試験に合格した年度とその翌年度の開講コースに応募できます。

#### ③旧制度合格者（2000 年度以前の第１次試験合格者）について

・2000年度以前の制度で新第１次試験に相当するものに合格している方（2001年度以降に第２次試験を受験した方を除く。また、2001年度以降の新第１次試験に合格し、第２次試験を受験した場合も除く。）については、１回に限り第２次試験の受験又は2006年度以降に当養成課程若しくは国に登録された登録養成課程の受講が可能ですが、第２次試験と当養成課程又は登録養成課程の複数を受験又は受講することはできません。

## 4．申込方法

### （1）受付手数料の納入

① 受付手数料5,000円（（税込）10%対象うち消費税額454円）を下記の銀行口座へ先にお振込みいただいた後、応募書類を受付期間内に送付してください。
② 専用の振込用紙はありません。各銀行に備え付けの用紙、インターネットバンク、ＡＴＭ等をご利用ください。
③ 必ず電信振込指定でお願いします（文書振込みはお使いいただけません）。
④ 振込先

**りそな銀行　東大和支店　普通預金　ＮＯ．０４４２３５１**

**口座名義　独立行政法人　中小企業基盤整備機構（ドク）（チュウショウキギョウキバンセイビキコウ）**

**登録番号　T2010405004147**

⑤ その他
・納入された受付手数料はいかなる場合でも返金いたしません。
・「振込日指定」により受付手数料をお振込みいただく場合は、指定された振込日以降に下記の応募書類が到着するようにご手配ください。

**◆振込み手続きに関する留意点**

**①振込名義人について**
・機関派遣申込については派遣元機関名にしてください。
・個人申込については本人名にしてください。

**②同一機関で応募者が複数の場合**
・同一機関で応募者が複数の場合、受付手数料は一括で振込みされても構いません。

### （2）応募書類

応募書類（下記⑧を除く）は当校のホームページからダウンロードした電子データに直接入力して**各1部**作成してください。なお、①～⑥については、**手書きの書類は失格とします。**

① 受講申込書
② 推薦書（機関派遣で申し込む方については、派遣元機関から提出していただきます）
③ 履歴書（写真貼付）
④ 身上書
⑤ 審査資料（小論文・原稿用紙２枚以内）
⑥ 受付票・面接票・写真票（写真貼付）・返信用ラベル（◆応募書類に関する留意点④を参照）
⑦ 健康診断書（当校指定書式）
⑧ 第１次試験合格証書PDFデータを印刷したもの

**◆応募書類に関する留意点**

**①応募書類の基本事項について**
・上記8種の応募書類以外は同封しないでください（送付状等は不要です）。
・ご提出いただいた書類は返却いたしませんのであらかじめご了承ください。
・記入漏れ・押印漏れ、写真の貼り付け忘れ等の不備がないか、よくご確認ください。
・用紙サイズはＡ４に統一し、上記の書類を折り曲げずに番号順に「クリップ留め」でセットし、3ページ（3）の送付先へお送りください。

**②応募書類の作成方法について**
・すべての応募書類はパソコン入力により作成してください。手書きは失格となります（⑦、⑧は除く）。文字以外の「○」の記入等も手書きではなく、必ずパソコン入力してください。
・応募書類の様式は必ず第47期募集要項第2次募集からダウンロードした様式をご使用ください（第47期募集要項第2次募集以外の様式は受付できません）。

**③機関派遣で受講する場合の受講申込書と推薦書の「所属長役職」、「所属長名」及び公印について**

・所属長は、当校からの特段の指定はありません。本件事務処理の関係などでご都合の良い所属長をご記入ください。また、所属長の役職名での公印が無い場合には、私印で構いません。同一機関で複数名受講される場合は所属長を同一人にしてください。なお、受講決定者へ送付する「受講決定通知書兼受講料請求書」の宛名は受講申込書にご記入いただいた「派遣元機関」・「所属長」宛となりますのでご注意ください。

**④写真について（デジタルデータ可）**

・応募書類に使用する写真は、応募書類提出時点で、３か月以内に撮影したもの（縦4.5cm×横3.5cm白黒でもカラーでも可、脱帽正面向、胸から上の半身）とし、背景は無地で明瞭なものにしてください（デジタルデータの使用も可）。不鮮明な場合は再提出していただきます。
・面接の際にメガネを使用する場合は、メガネを着用して撮影してください。
・面接当日に応募書類に貼付された写真が本人と著しく異なる場合は、身分証明書等により本人確認をする場合がありますのでご了承ください。

**⑤返信用ラベルについて**

・返信用ラベルの送付先は、機関申込の方は事務連絡者の機関名・所属部課名・氏名を、個人申込の方は受講者本人の宛先をご記入ください。
・ラベルシートに印刷する必要はありません。通常のＡ４用紙に印刷してください。

## （3）応募書類の送付

①送付先　〒２０７－８５１５
東京都東大和市桜が丘２－１３７－５
中小企業大学校東京校　支援研修課　養成課程担当
電話 ０４２－５６５－１２７３

②封筒
・角2サイズ（240mm×332mm）の封筒（レターパック可）へ書類を折り曲げずに封入してください。
・封筒の表左隅（レターパックは品名）に、**「診断士養成課程応募書類在中」と朱書き**してください。

**◆書類送付に関する留意点**

**①送付の方法について**

・応募書類は郵送または宅配便にてお送りください。
・東京校への応募書類の持込み、FAX、E-mailでの申込みは受付けておりません。

**②同一機関で応募者が複数の場合**

・同一機関で応募者が複数の場合には、応募書類は同じ封筒に封入して構いません。

**③書類到着の確認について**

・簡易書留や特定記録郵便・レターパックをご利用されることをお勧めいたします。お問い合わせ番号をもとに、配達状況～完了までを日本郵便株式会社のホームページで検索することが可能です。また、宅配便も送り状番号等より追跡ができますので、配達状況の確認が可能です。

## （4）書類の受付期間（〆切厳守）

**2026 年 12 月 10 日（木）～ 2027 年 1 月 20 日（水）　当日必着**

## 5．選考方法

### （1）書面審査

① 応募の際に下記テーマに基づき作成した800字（原稿用紙2枚）以内の小論文を提出していただきます。

**〔第 47 期第 2 次募集　審査テーマ〕**

地域経済の活性化に向けた取り組みとして、自治体による大企業の誘致が進められている一方で、既存の中小企業が果たす役割こそが重要とも言われています。あなた自身は、地域における中小企業の存在意義をどのように考えますか。また、そのような存在意義を有する中小企業に対して中小企業診断士にはどのような支援が可能であると考えますか。ご自身の具体的な経験を交えて考察して下さい。

また、将来、あなたが中小企業診断士としてそのような支援を担っていくために、中小企業診断士養成課程における学びの場をどのように活用していきますか。

これらについて合計800字以内で記述して下さい。

② 健康診断書について
審査資料となりますので、応募書類としてご提出ください。
医療機関にて健康診断を受診し、当校指定書式の健康診断書にて作成の依頼をしてください。
なお、健康診断書の判定日は診断日を記入していただきますが、面接日より過去６か月以内に受診した健康診断の内容を当校指定書式の健康診断書に医療機関にて転記したものも有効とします。

③ 提出された小論文は、東京校に設置した受入審査委員会において当養成課程の実施目的や書面審査基準に基づいて評価・選考を行い、書面審査合格者を面接審査対象者として決定します。

### （2）面接審査

面接審査実施方法
面接対象者に、東京校内にて面接審査を実施し、その結果に基づき受入審査委員会において審査を行い、面接審査に合格した方を受講決定者といたします。

## 6．結果発表

### （1）書面審査

① 発表日時：2027年1月25日（月）14:00（予定）
② 発表方法：面接対象者の受付番号を当校のホームページに掲載します。

### （2）面接審査

① 発表日時：2027年2月8日（月）14:00（予定）
② 発表方法：受講決定者及び補欠者の受付番号を当校のホームページに掲載します。

東京校
ホームページ

### （3）結果の通知

書面審査及び面接審査の結果は、ホームページでの結果発表日付で、本人または派遣元所属長に文書でも通知（郵送）します。
書面審査及び面接審査の審査内容等についてはお知らせしていませんのでご了承ください。

### （4）補欠者の取り扱いについて

受講決定者の受講辞退が生じた場合には、2027年2月19日（金）までに随時、補欠者の方に対してお電話で受講の意思確認を行った後、受講決定通知書等を郵送します。
なお、ホームページでの繰上げ状況のお知らせは行いません。

**◆書面審査及び面接審査の結果発表に関する留意点**

**①受付番号について**

・応募書類受理後、当校から受付番号を記入した「受付票」が郵送されます。書面審査及び面接審査の結果発表は受付票の番号でご確認ください。

**②合否の問い合わせについて**

・面接審査対象者、受講決定者のそれぞれの合否発表、また**補欠者の繰上げに関する電話等によるお問い合わせには一切お答えできません。**

## 7．受講料　2,343,000円（税込）

※ただし、下表の要件を満たす場合は 1,205,000円（税込）

受講者が以下の1.から3.の機関に所属する職員で、各機関が現場で中小企業診断士として中小企業の支援業務に従事させることを前提に派遣する場合

1. 国及び地方公共団体
2. 中小企業支援法第７条第１項に規定する法人
   ［例：公益財団法人●●県産業振興センター
   　　公益財団法人▲▲市中小企業支援センター］
3. 中小企業関係団体
   (1) 商工会議所及び日本商工会議所
   (2) 商工会及び都道府県商工会連合会並びに全国商工会連合会
   (3) 都道府県中小企業団体中央会及び全国中小企業団体中央会
   (4) 都道府県等信用保証協会及び全国信用保証協会連合会
   (5) 公益財団法人全国中小企業振興機関協会

### （1）受講料の納入

① 納入期限　2027年2月26日（金）
② 納入方法　受講決定者へ送付する通知書に記載された納入方法に従い、原則全額前払いで受講料を納入していただきます。ただし、受講料 2,343,000円の対象者に限り、一括でお支払いできない場合には 1,171,500円ずつの分割納付にも対応いたします。詳細については受講決定後、中小企業大学校東京校 支援研修課 養成課程担当（電話:042-565-1273）までお問い合わせください。

### （2）その他の経費負担

① 実習に伴う経費
約50日程度の実習を予定しております（実習企業は関東圏内の中小企業を予定）。実習に係る資料収集費、交通費、宿泊費等について、受講者または派遣元機関で負担していただきます。訪問先実習企業の場所にもよりますが、別途20～25万円程度かかる場合があります。

② 入寮に伴う経費
同じ敷地内に併設する宿泊施設（東大和寮）に入寮される場合の宿泊料は、1泊税込3,600円（食堂休業日については朝食はありません）。なお、面接審査時の宿泊は空室がある場合、税込4,100円でのご利用となります。入寮予定日や面接審査に係る宿泊の際、当日22:00までに連絡がなく、不泊の場合はキャンセル料金（１泊分）が発生します。
寮に関するお問い合わせは東大和寮のフロント（電話:042-564-1011）へ直接お問い合わせください。

**※受講料及び寮宿泊費は改定となる場合がございますので予めご了承ください。**

## 8．感染症予防対策

教室内でのマスクの着用は任意ですが、約6か月にわたる研修期間中の体調維持、管理にご協力をお願いします。また、研修時間外の行動についても感染予防に資する行動をお願いすることがありますのでご理解のうえ、お申込みください。

## 9．個人情報の取り扱い

当養成課程の応募のためにご提出をいただいた個人情報については、第47期 中小企業診断士養成課程第2次募集における選考及びそれに伴う事務処理に関してのみ使用します。

## 10．Q&A

**Q１：応募条件に「中小企業診断士の資格取得のみを目的としない方」（P1.2（5）参照）とありますが、その趣旨を教えてください。**

Ａ１：当養成課程は、カリキュラム全般において求める修得水準が高く、学習負荷やスケジュールも厳しく設定されています。最後まで主体的に取り組むためには、診断スキルを身に付け、地域や社会の発展に寄与したいという強い意志と意欲が不可欠です。
ただし、資格取得を目指すこと自体は歓迎していますのでご安心ください。私たちが重視しているのは「資格取得の先にある目的」です。学びを通じて、実践的なスキルを身に付け、社会に貢献したいという思いをお持ちの方をお迎えしたいと考えています。

**Q２：修了できない場合や受講期間中に退校となることはありますか？**

Ａ２：あります。研修で学んだ内容に関して修得水準に達しない、所定の出席率に達しない場合は退校処分となり、修了証書も交付されません。また、受講同意書や企業情報の秘密保持に違反した場合は、受講期間中においても退校処分になります。

**Q３：他の地域の中小企業大学校で開講する予定はありますか？**

Ａ３：東京校以外での当養成課程の開講は現在予定されておりません。

**Q４：宿泊施設（東大和寮）には必ず入寮する必要がありますか？また、受講者の何割程度が入寮していますか？**

Ａ４：入寮は任意です。空室がある場合は、1泊から利用することもできます。なお、受講者の約7割が東大和寮を利用しています。

**Q５：教育訓練給付金の対象講座ですか？**

Ａ５：当養成課程は、厚生労働大臣指定の「一般教育訓練給付制度」の対象講座です。申請の上、要件を満たした方には、教育訓練経費の20%（上限10万円）が支給されます。詳細は、厚生労働省又は住居所を管轄するハローワークにご確認ください。

**Q６：教育訓練休暇給付金を利用の対象となりますか？**

Ａ６：本課程の受講にあたり、一定の要件を満たす場合は、教育訓練休暇給付金を受給できる可能性があります。
給付を受けるためには、勤務先の就業規則等に基づき、30日以上の無給の教育訓練休暇を取得することなど、所定の要件があります。
制度の詳細や受給の可否については、住居所を管轄するハローワークにご確認ください。

**Q７：養成課程終了後に人材開発支援助成金を申請できますか？**

Ａ７：各都道府県の労働局へお問い合わせください。

**Q８：働きながら、あるいはダブルスクールでの受講は可能ですか？**

Ａ８：昼間の演習・実習を想定しており、時間終了後もかなりの事前学習等が必須となります。
働きながら、あるいはダブルスクールでの受講は難しいと思われます。

**Q９：自宅から通いたいのですが自動車等での通学は可能ですか？**

Ａ９：受講者用の駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用ください。

**Q10：中小企業大学校と中小企業診断士第２次試験を併願し、第２次試験に合格した場合、受講を辞退する必要がありますか？**

Ａ10：当養成課程の受講をご希望の場合、受講していただくことができます。
ただし、中小企業診断士に登録していない方に限ります。

## 受講申込書　記入例

※機関派遣の「受講決定通知書兼受講料請求書」の宛名は、受講申込書の「派遣元機関」の「所属長」宛となります。

独立行政法人　中小企業基盤整備機構
関東本部 中小企業大学校東京校　校長　殿

受付番号　（当校記入）

# 受 講 申 込 書

（第 47 期 中小企業診断士養成課程 第2次募集）

表紙の第2次募集の趣旨を理解した上で申込いたします。　申込日：〔西暦〕〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

| | | | |
|---|---|---|---|
| 申込種別 | ①機関申込 ・ ②個人申込　←どちらかに〇をしてください。 | | |
| （フリガナ）<br>受講者氏名 | チュウショウ　タロウ<br>中　小　　太　郎 | 生年月日<br>年　齢<br>性　別 | 〔西暦〕〇〇〇〇年〇月〇日生<br>申込日現在の年齢　〇〇歳<br>男　性 ・ 女　性 |
| 本人現住所 | 〒×××－××××<br>東京都〇〇区〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号　〇〇コーポ１０２号室 | | |
| 本人連絡先 | TEL：０９０-△△△△－△△△△ | E-mail：chushou-taro@△△△△.ne.jp<br>※キャリアメールは不可 | |
| 緊急連絡先 | TEL：０９０-△△△△-△△△△ | 氏名：中小　一郎 | 続柄：父 |
| （フリガナ）<br>派遣元機関名 | 〇〇ケンショウコウカイレンゴウカイ<br>〇〇県商工会連合会 | 派遣元<br>所属長役職<br>派遣元<br>所属長名 | 会長<br>商工　二郎 |
| 派遣元機関住所 | 〒×××－××××<br>〇〇県〇〇市〇〇丁目〇〇番〇〇号　〇〇ビル３Ｆ | | |
| （フリガナ）<br>受講者所属機関名 | ●●シショウコウカイ<br>●●市商工会<br>※派遣元機関名と同一の場合は同上とお書きください | | |
| 受講者所属機関住所 | 〒×××－××××<br>〇〇県●●市〇〇丁目〇〇番〇〇号　●●市商工会館内<br>※派遣元機関名と同一の場合は同上とお書きください | | |
| 受講者所属部課 | 総務課 | 受講者役職 | 係長 |
| 事務連絡者<br>所属機関部課 | ●●市商工会　総務課 | （フリガナ）<br>事務連絡者名 | ジンジ　ハナコ<br>人事　花子 |
| 事務連絡者連絡先 | TEL：△△△－△△△－△△△△<br>FAX：△△△－△△△－△△△△ | E-mail：jinji@△△△△.ne.jp | |
| 実務経験年数 | 〇〇年〇か月　（養成課程開講日時点での全職歴の通算年月数を記入） | | |
| パソコン操作に関する基礎知識 | 文書作成機能を使って文書・図表などを作成：<br>①出来る・②マニュアルを見ながらなら出来る・③出来ない<br>表計算機能を使って図表・簡単な計算式などを作成：<br>①出来る・②マニュアルを見ながらなら出来る・③出来ない<br>プレゼンテーション機能を使って効果的な説明資料を作成：<br>①出来る・②マニュアルを見ながらなら出来る・③出来ない | | |

〇〇県商工会連合会会長之印（必須）

押印

個人申込みの方は、太枠内は記入不要です。

| 受講料（当校記入） | 受付手数料（当校記入） |
|---|---|
| | |

## 推薦書　記入例

※1枚でご提出ください

機関申込の方のみ提出して下さい。

受付番号　（当校記入）

# 推　薦　書

押印

独立行政法人　中小企業基盤整備機構
関東本部　中小企業大学校東京校　校長　殿

派遣元機関名　〇〇県商工会連合会
所属長役職　会長
所属長氏名　商工　二郎

〇〇県商工会連合会之印

下記の者を当機関の中小企業の支援に係る業務に従事させたいので「第 47 期　中小企業診断士養成課程 第2次募集 受講申込書」に、本推薦書を添えて受講の申込みをいたします。

受講者所属部課・役職　　総務課　係長

受講者氏名　　中小　太郎

1．推薦理由

当会から応募した中小太郎は、・・・・・・・・・・、地元中小企業の経営者からも高い信頼を得ており、・・・・・の実現に向けた熱意も高く、・・・・スキルアップについても自主的に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・。当会として・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・と考え、推薦いたします。

2．当養成課程修了後に配置する部課名・活動内容（予定で結構です）

中小太郎は現在総務課に所属しておりますが、本養成課程修了後は経営支援課に配置する予定です。
経営支援課は中小企業の・・・・・・・・・・・・・・・についてサポートを行うことが主な業務内容となっており、中小太郎には・・・・・・・・・・のリーダーとして活躍を期待しています。

3．貴機関が東京校の養成課程を選択した理由

東京校で実施している中小企業診断士養成課程は、他の登録養成機関に比べて・・・・・・・・・・・・・という点に特徴があり、・・・・・・・・・・・・・・・・・・。特に受講者には、修了後に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・で成果を上げるための実践力が求められ、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・を習得させることが重要であると考え、東京校の養成課程の受講を希望します。

4．貴機関における東京校の養成課程修了者の活動状況

当会では東京校の養成課程の修了者は〇〇名おります。全員が経営支援課に所属しており、第〇〇期の養成課程を修了した桜丘三郎が初代のグループリーダーとして活躍しております。経営支援課では・・・・・・・△△△制度における計画認定支援では〇〇件の実績を上げ、今年度は□□□プロジェクトを立ち上げて・・・・・・のネットワーク構築にも積極的に取り組んでおります。

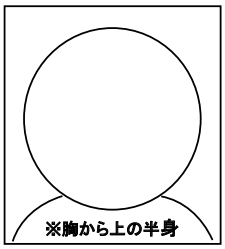
5．貴機関における当養成課程への派遣に対する方針・取り組み、今後の派遣計画等

東京校の養成課程の受講を希望する職員の支援については、・・・・・・・・・・・・・・・・・・という方針に基づき、組織的に継続して取り組んでおります。今後も１次試験合格者が出た場合には、東京校の養成課程への応募を・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ということで予定しております。

## 履歴書　記入例

※1枚でご提出ください

※デジタルデータを
普通紙に印刷も可
4.5cm×3.5cm




第 47 期　中小企業診断士養成課程 第2次募集

受付番号　（当校記入）

# 履　歴　書

申込日：〔西暦〕〇〇〇〇 年　〇月　〇日

| | | | |
|---|---|---|---|
| （フリガナ）<br>受講者氏名 | チュウショウ　タロウ<br>中　小　　太　郎 | 生年月日<br>年　齢 | 〔西暦〕〇〇〇〇年〇月〇日生<br>申込日現在の年齢〇〇歳 |
| | | 性　別 | 男　性　・　女　性 |
| 本人現住所 | 〒×××－××××<br>東京都〇〇区〇〇町〇〇丁目〇〇番〇〇号　〇〇コーポ１０２号室 | | |
| 本人連絡先 | TEL：０９０-△△△△－△△△△ | E-mail：chushou-taro@△△△△.ne.jp<br>※キャリアメール不可 | |

| 西暦 | 月 | 主な学歴・職歴・賞罰 |
|---|---|---|
| | | ＜学歴＞ |
| ２００４ | ３ | △△府立〇〇高等学校　普通科　卒業 |
| ２００４ | ４ | ××大学　経済学部　経済学科　入学 |
| ２００８ | ３ | ××大学　経済学部　経済学科　卒業 |
| | | ＜職歴＞ |
| ２００８ | ４ | ××信用金庫　入社 |
| ２０１０ | ９ | ××信用金庫　退社 |
| ２０１０ | １１ | 〇〇県商工会連合会　入会 |
| ２０１７ | ３ | ●●市商工会　入会（異動） |
| ２０〇〇 | 〇 | 〃　　現在に至る |
| | | |
| | | 賞罰 |
| | | なし |
| | | |

＊下記項目に保有資格がある場合は、〇をつけて下さい。なお、下記以外の資格は身上書に記入してください。

| | |
|---|---|
| 取得資格 | ・公認会計士　・税理士　・社会保険労務士　・行政書士<br>・会計士補　・簿記検定試験（検定名：日商簿記／２級）　・情報処理技術者 |

## 身上書　記入例

※1枚でご提出ください

第 47 期　中小企業診断士養成課程 第2次募集

受付番号　　（当校記入）

# 身　上　書

（フリガナ）　チュウショウ　タロウ

氏　　名：　中小　　太郎　　申込日：〔西暦〕〇〇〇〇年〇月〇日

| | | |
|---|---|---|
| 特殊技能<br>資　　格<br>（履歴書に記載した以外の資格等） | **ＴＯＥＩＣ　７００点**<br>**パソコン検定　３級**<br>**普通自動車免許** | 趣味・特技<br>**映画鑑賞・水泳** |

**◆健康状態についての本人の所見**

| | |
|---|---|
| 現在の健康状態 | （良好）・経過観察中・加療中（経過観察中及び加療中の方は＊印の部分もご記入下さい。） |
| ＊疾病名 | |
| ＊通院状況 | ＿＿週・＿＿月に（　　）回程度 |
| ＊特記事項 | |

| | |
|---|---|
| アレルギー | 無　・（有）　※有の場合、具体的な種類（　卵アレルギー　　） |

**◆自己紹介**

志望動機
**私の実家は中小企業を経営しており、・・・

# 審査資料　テーマと作成上の注意

## １．第 47 期第2次募集　審査テーマ

地域経済の活性化に向けた取り組みとして、自治体による大企業の誘致が進められている一方で、既存の中小企業が果たす役割こそが重要とも言われています。あなた自身は、地域における中小企業の存在意義をどのように考えますか。また、そのような存在意義を有する中小企業に対して中小企業診断士にはどのような支援が可能であると考えますか。ご自身の具体的な経験を交えて考察して下さい。

また、将来、あなたが中小企業診断士としてそのような支援を担っていくために、中小企業診断士養成課程における学びの場をどのように活用していきますか。

これらについて合計800字以内で記述して下さい。

## ２．作成上の注意

（１）当校ホームページ（ＵＲＬは裏表紙参照）より原稿用紙のデータ（Word 様式）をダウンロードしてパソコンで作成してください。

（２）審査資料（小論文）の提出は片面２枚です。（３枚以上は不可）

（３）用紙１枚目の左上にある「氏名欄」には必ず氏名を記入してください。

（４）ホチキス留めはしないでください。



## 受付票・面接票・写真票　返信用ラベル　記入例

機関申込の方は記入例の通り部課名・担当者名を必ずご記入ください。

第47期中小企業診断士養成課程 第2次募集 返信用ラベル

第47期中小企業診断士養成課程 第2次募集
受　付　票

受付番号：　（当校記入）

フリガナ：　チュウショウ　タロウ
氏　名：　中小　太郎

〒　×××　―　××××

〇〇県〇〇市1-2-3

●●市商工会館内
●●市商工会
総務課　人事　花子　様

①受付票送付用

第47期中小企業診断士養成課程 第2次募集
面　接　票

受付番号：　（当校記入）

フリガナ：　チュウショウ　タロウ
氏　名：　中小　太郎

〒　×××　―　××××

〇〇県〇〇市1-2-3

●●市商工会館内
●●市商工会
総務課　人事　花子　様

②面接対象者 決定通知送付用

第47期中小企業診断士養成課程 第2次募集
写　真　票

受付番号：　（当校記入）

フリガナ：　チュウショウ　タロウ
氏　名：　中小　太郎

履歴書と同一の写真
**（胸から上の半身）**
の裏に氏名をご記入の上、この場所にのり付けして下さい。
4.5cm×3.5cm

※ デジタルデータ可

（当校記入）

〒　×××　―　××××

〇〇県〇〇市1-2-3

●●市商工会館内
●●市商工会
総務課　人事　花子　様

③受講者 決定通知送付用

〒　×××　―　××××

〇〇県〇〇市1-2-3

●●市商工会館内
●●市商工会
総務課　人事　花子　様

④予備

【書類（受付票・合否通知等）郵送先の住所・宛名をご記入ください。】【必ず「様」と記載してください。「行」や「宛」に変えないでください。】
※郵送先については、機関申込の方は事務連絡者、個人申込の方は受講者本人の宛先を記載ください。

## 健康診断書　記入例

※当校ホームページに掲載される健康診断書を使用してください。
**※2026年８月７日(金)以降で既に健康診断を受診済の場合、その受診結果を医療機関で当健康診断書に転記しても構いません。(P4.5（１）参照)**

第47期 中小企業診断士養成課程 第2次募集

受付番号　　（当校記入）

# 健 康 診 断 書

**氏　　名**：中小　太郎　　**性　　別**：(男性)・女性

**生年月日**：〔西暦〕〇〇〇〇 年　〇月　〇日 生　　**年　　齢**：〇〇 歳

**身　　長**：〇〇〇．〇 cm　**体　　重**：〇〇．〇 kg

**血　　圧**：最 高 〇〇〇　最 低 〇〇　**尿**：蛋白（ — ）　糖（ — ）

**視　　力**：右 〇．〇　左 〇．〇　*メガネ・コンタクト使用の場合、矯正視力を記入

**聴　　力**：日常会話に (支障なし)・支障あり

**胸部X線**：(直接・間接) 所見（　異常なし　）

注：2026年８月７日以後、人間ドック等で胸部X線を受診している場合は、その診断結果を添付することにより胸部X線の受診を省略することが可能です。

**既往歴**：特記事項なし

**自覚症状**：特になし

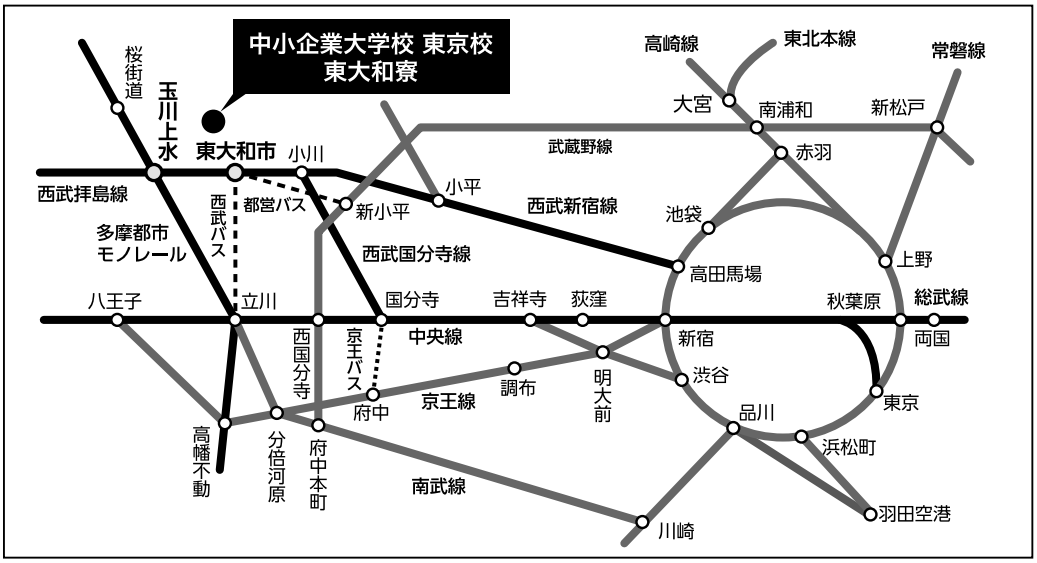
**他覚症状**：異常なし

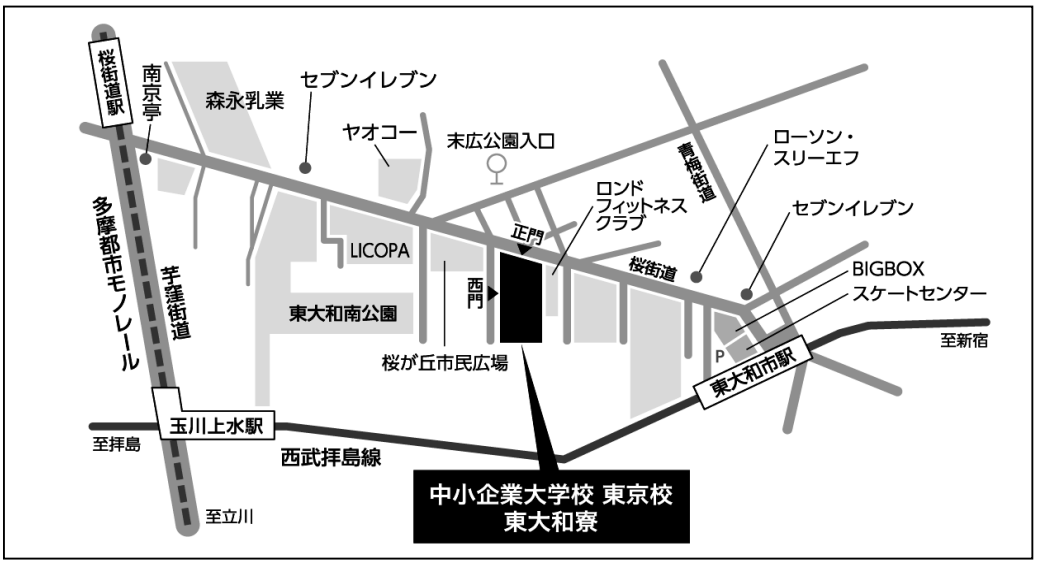
**総合所見**：異常なし

＊本診断書は、概ね6か月間にわたる研修を、心身の健康状態に支障なく受講いただけるかを判断するために提出していただいております。
　判定日時点の健康状態を、上記基準（下線部）に照らして医師に判断してもらい、総合所見を記入してもらってください。

医療機関名　〇〇病院
医療機関住所　東京都〇〇区〇〇町〇〇
医療機関電話　０３－△△△－△△△△
判定医師名　〇〇　〇〇　(印)
判定日　〔西暦〕〇〇〇〇 年　〇月　〇日

# 交通のご案内




## ＜東京校へのアクセス＞

| | | |
|---|---|---|
| (1) | 新宿駅→（JR山手線　約5分）→高田馬場駅→（西武新宿線・拝島線　急行約 40 分）<br>→東大和市駅下車　徒歩 10 分 | 約 1 時間 |
| (2) | 新宿駅→（JR 中央線　快速約 30 分）→国分寺駅→（西武国分寺線・拝島線　約 20 分）<br>→東大和市駅下車　徒歩 10 分 | 約 1 時間 |
| (3) | 新宿駅→（JR 中央線　快速約 40 分）→立川駅（徒歩）立川北駅<br>→（多摩都市モノレール　約 10 分）→桜街道駅下車　徒歩 20 分 | 約 1 時間 20 分 |
| (4) | 新宿駅→（JR 中央線　快速約 40 分）→立川駅→北口 8 番バス乗り場よりバス乗車→南街<br>(立39)または芝中団地(立45)行き→(西武バス　約25分)→末広公園入口下車　徒歩3分 | 約 1 時間 20 分 |

（1）のルートの場合、新宿駅から約 1 時間、東京駅から約 1 時間半、羽田空港から約 2 時間で到着します。
※受講者用の駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用ください。

**養成課程をもっと詳しく**
特設サイトはこちら


独立行政法人中小企業基盤整備機構
**関東本部 中小企業大学校 東京校**
〒207-8515　東京都東大和市桜が丘2-137-5　TEL：042-565-1273


（2026 年 11 月現在）